

受検生の心得 その②

受験票	
受験番号: No.0000000	
名前: 受験 太郎	

3. 受検会場へ行く前に

1. 忘れものはないかもう一度確認しよう！

こういう時にかぎって「入れたつもりだったのに入っていない。どうしよう。」というようなことがありがちです。再確認！再点検！

2. 朝食は必ず食べよう！

朝食をきちんととって、トイレもすませ、いざ、出発！「頑張ってきます」と明るくゆったりとした気持ちで出かけましょう。

3. 待ち合わせしないように！

友だちと待ち合わせをして、待ってあげた人が遅刻をして、テストを受けられなかったという例もあります。だから、行く途中での、待ち合わせは避けましょう。もし、一緒に行く場合でも「いつ、どこで、何分までは待つ」ということをしっかり約束しましょう。

(遅刻生の主な原因は「友達との待ち合わせ」です。)

4. 遅刻でテストをあきらめない！

万全を期したつもりでも、思わぬことに(交通事故や交通渋滞など) 会うこともあります。たとえ遅刻であってもあきらめず、受検する高校へ行き、引率の先生に理由を話し、指示に従うようにしよう。

4. 受検場に着了いたら

1. 受検場の注意事項をよく読みましょう。

受検場には、注意事項などが書かれていることがあります。よく読んで指示されたことをきちんと守り、必要なことはメモを取るようにしましょう。

2. 受検番号(名札)を集合前に確認し、しっかり覚えましょう。

受検番号を間違えてしまったら大変です。再確認！

5. 受検場入場・テスト中は



1. 必ず指示に従って！

指示に従って受検場に移動、入室します。ふだん人の話を聞かないで、よく注意を受ける人は特に注意をしましょう。

2. 席に着いたら

受検番号の確認(答案用紙に間違った番号を書いたら命取りです)をし、筆記用具を机の上におき、不要なものは、カバンにしまえます。(下敷きもダメです。)カバンは受検場に持ち込めない(廊下に置く)場合もあります。

3. テスト前に

テスト開始前に席で少し体を動かすのもいいと思います。背伸びをしたり、首の運動をしたり、気持ちをリラックスすることをやってみよう。意外と落ち着きます。ただし、テスト中や静かにしなければならないときにすると退場させられたり、直接注意されなくても、監督の先生に受検番号をメモされたりして、採点にひびく場合があります。

4. 指示は

監督の先生や校内放送の注意をよく聞きましょう。すべての注意事項、連絡は監督の先生が校内放送を通して行われます。特に放送には気をつけましょう。

5. 問題用紙が配られたら

問題用紙は何枚あるのか、解答はどれに書き込むか、受検番号、テストの終了時間などを確認し、いうまでもなく、やさしそうな問題から始めましょう。得意な分野や自分が勉強して自信があるところから手をつけるのが心を落ちつかせ、調子をあげて集中できるヒケツでもあります。

6. 困ったことがあったら

答案用紙が破れたり、消しゴムを落としたり、トイレに行きたくなくなったり、気分が悪くなったときなどは、静かに手を挙げて監督の先生を呼び、相談するようにしましょう。

(不審な行動はチェックされます。)

7. 休憩時間は

休み時間中に答え合わせをすることは、やめた方がいいです。友だちと自分の答えが違っていたりすると、とても不安になり次の科目のテストを受けるときに大きな影響を与えることがあるからです。休憩時間であっても、大きな声を出したり、乱れた服装でいたりすると損をすることがあります。

8. 面接では

面接で気をつけることは、服装、頭髪など身だしなみが一番大切です。試験官にどれだけ良い印象を与えるかが大きなポイントになります。自分の良さや志望の動機などが、しっかり試験官に伝わるように堂々と受け答えしましょう。頑張ってください！

※学力検査が始まる前や、休み時間・昼休み等の行動もチェックされています。

緊張感を持って行動しましょう！

大きな夢をつくるのは 今しかない

自分の力を出し切るのは 今しかない

わたしの人生 目標に向かって挑戦するのは 今しかない

